

学校教育計画（令和2年度～令和5年度）

学校名	小田原高等学校	課程・学科 教育部門・学部	単位制による全日制 普通科
-----	---------	------------------	------------------

1 学校のミッション

全日制普通科の高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に
応えるため、年次進行型単位制のカリキュラム・マネジメントに学校組織全体
で取り組み、生徒の確かな学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、地域に
根ざした信頼される学校づくりに取り組む。

教育課程については、1，2年次は共通教科・科目の履修を中心に、3年次
は生徒の進路実現を目指し、特性や地域・学校等の実情を踏まえながら、令和
4年度の新教育課程に向けて適切な編成および運用に取り組む。

これまで、生徒が、物事を多面的・多角的に捉え、論理的に思考する能力を
育成するよう不断の授業改善に取り組んできたが、今後はさらに、生徒が自ら
課題を発見し解決する力を育む授業実践により、主体的に学習に取り組む態度
を養い、グローバル化が進展する社会に求められる資質・能力の育成に向けた
教育活動の一層の充実に取り組む。

また、平成28年度から「学力向上進学重点校エントリー校」、令和元年度から
「理数教育推進校」の指定を受け、引き続き生徒の課題解決能力および論理
的思考力の育成を目指したカリキュラム開発に取り組み、その成果を地域の県
立高校等に様々な機会を設けて普及するとともに、次年度「学力向上進学重点
校」、令和4年度「スーパーサイエンスハイスクール」の指定を目指す。

2 学校教育目標

- 高い知性と教養を持った、明日を担う人材の育成
- 豊かな発想と創造性を備えた人間の育成
- 健康で心豊かな人間の育成

3 計画策定時点での課題

令和3年度に「学力向上進学重点校」の指定を受けるため、最も重要な課題
は、指標5を達成することである。そのためには、早期からの生徒と職員への
意識喚起が必要であり、効果的な情報の収集・共有によって迅速でかつ柔軟な
組織運営体制を構築していくことである。

令和元年度から3年間の「理数教育推進校」指定後、令和4年度に「スーパ
ーサイエンスハイスクール」の指定を受けるため、最も重要な課題は、生徒の
主体的な取り組みおよび論理的思考力を育成するための指導方法の開発を学校
組織全体で確立していくことである。

これら2つの指定校事業の目標について全職員で意識共有を図るとともに有
機的に連携させ、機能的な研究体制を整備することが課題である。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい時代に必要となる資質・能力の育成を目指し、特性や地域・学校の実情等を踏まえながら、カリキュラム・マネジメントに取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりの進路実現を目指し、新学習指導要領に向けた教育課程の編成および運用に取り組む。 ・生徒の課題解決能力および主体的に学習に取り組む態度を育成する。
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事、部活動、委員会活動を更に充実させ、その活動を通じて、人間形成を図り、全人教育を実践する。 ・生徒一人ひとりの個を尊重した支援体制をさらに充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の自主性を尊重し、生徒の諸活動が充実するよう支援する。 ・支援が必要な生徒の情報共有、個別の支援に一層取り組む。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が進路希望の実現を達成できるよう、目的意識を持たせて学習意欲を高め、自主的に人生設計ができる資質を育む等、進路指導の充実を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の進路希望の実現に有益な学習の機会を提供してきめ細かなサポートを行い、進路や学習に対する意識を高める。 ・実力試験等の結果を分析し、実力を伸ばす支援を行う。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働を推進し、地域から信頼される学校づくりを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事への参加の呼びかけや、学校の活動を地域に広く広報する。 ・地域の行事への参加や地域貢献の機会を増やす。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の目標を達成するため、学校内外の人的・物的資源を活用し、教職員の人格的資源・専門性の向上を図る。 ・教職員全体で事故防止に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌のグループとコミュニティ・スクールの各部会を連携させ、よりよい学習環境の整備を推進する。 ・日ごろから、事故防止に対する注意喚起を行う。